朝鮮社会科学者協会

通報



2

2017

通　報

朝鮮社会科学者協会

累計番号 8

目　次

チュチェ思想地域セミナーに関するニュース

東北アジア地域諸国の自主的発展と将来に関するチュチェ思想セミナーがチュチェ 106（2017）年 9 月 18 日、モンゴルのウランバートルで開催された。

セミナーの会議場には、**金日成**主席と**金正日**総書記、敬愛する最高指導者**金正恩**委員長の不滅の革命業績を込めた写真文献が展示されていた。

モンゴルの自主的発展をめざす白頭山協会、モンゴルチュチェ研究センター、モンゴルチュチェ思想・先軍思想研究協会とロシア、日本のチュチェ思想研究組織の人士、モンゴルのチュチェ思想研究者、モンゴル駐在の朝鮮民主主義人民共和国特命全権大使と大使館のメンバー、モンゴルを訪問している朝鮮社会科学者協会代表団がセミナーに参加した。



セミナーでは、報告と討論が行われた。


REGIONAL SEMINAR ON INDEPENDENT DEVELOPMENT AND FUTURE
FOR NORTH EAST COUNTRIES
18-19 September, 2017, Ulaanbaatar
MONGOLIA
DPRK
JAPAN



報告者と討論者は、**金日成・金正日**主義はすべての国の自主的発展と世界の自主化偉業の遂行の道を明らかにした指導的指針であると言った。

彼らは、**金日成・金正日**主義が明らかにしたように主体性と民族性を堅持し、自力自強の原則に立って自力を養うために積極的にたたかうとき、各国と民族が発展を成し遂げることができると言った。

金日成主席と**金正日**総書記の思想と偉業を立派に継承している**金正恩**委員長がおられるがゆえ、朝鮮民主主義人民共和国が自主、自立、自衛の社会主義強国として威容を轟かせており、チュチェの社会主義偉業完成をめざす確固たる展望が開かれたことについて言及した。

彼らは、チュチェ思想研究普及が人民大衆の自主性と世界の平和を実現するための闘争において、必須的な事業として提起されると言いながら、**金日成・金正日**主義研究普及活動を大いに展開することを強調した。

セミナーでは、敬愛する最高指導者**金正恩**委員長に差し上げる手紙が採択された。



チュチェ 106（2017）年 10 月 7 日、イタリアのローマで現在の世界における自主性と平和に関するヨーロッパ地域チュチェ思想セミナーが開催された。

金日成主席と**金正日**総書記、敬愛する最高指導者**金正恩**委員長の不朽の古典的著作、社会主義の道に沿って揺るぎなく進む朝鮮民主主義人民共和国の誇るべき現実を紹介する図書が会議場に展示された。

セミナーには、チュチェ思想国際研究所事務局長、ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会理事長、書記長、理事、イギリス、ドイツのチュチェ思想研究組織の責任者たちとメンバー、イタリアの各政党、団体、機関の人士が参加した。





セミナーでは、ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会書記長の報告について討論が行われた。

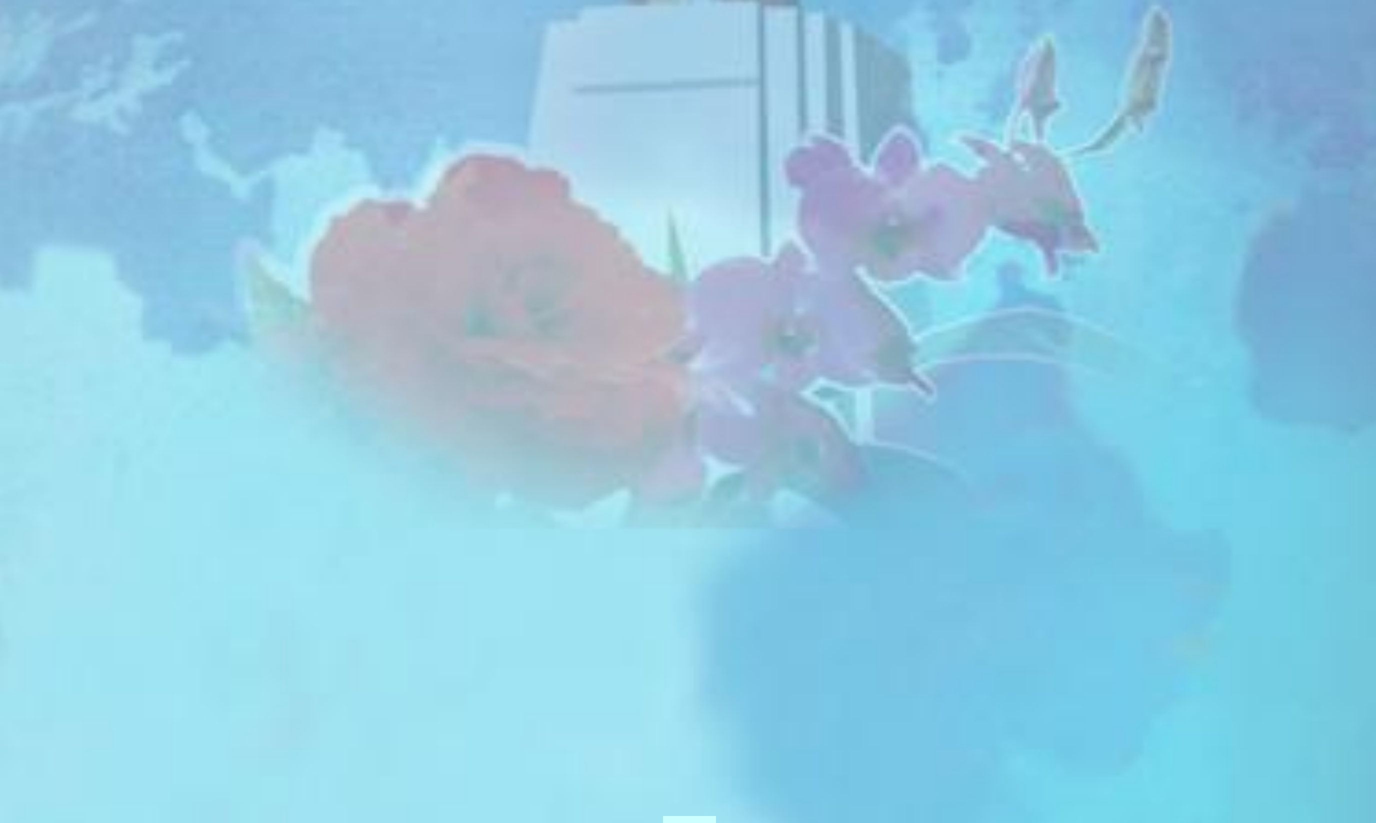


報告者と討論者は、21 世紀の太陽である敬愛する**金正恩**最高指導者の指導に従って偉大な**金日成・金正日**主義の旗印を高く掲げて進むチュチェ朝鮮は、自主によって尊厳をとどろかせている国であると称えた。

彼らは、今日ヨーロッパ地域諸国が進むべき道は、反帝自主の道である、偉大な**金日成・金正日**主義に対する研究普及活動を一層活発に展開するのは、自主的かつ平和の世界を建設するためにたたかうわれわれの栄誉ある義務であると強調した。

このたびのセミナーは、アメリカの強権と専横に反対し、公正な国際秩序を確立するための自主的勢力の闘争において提起される問題をチュチェ思想に結び付けて討議し、自国の具体的な実情に合う解決方途を模索した意義のある契機となると言い、彼らはセミナーから得た成果と経験に基づいて各国と地域の自主性と繁栄を成し遂げるために積極的に努力する意志を表明した。

セミナーでは、敬愛する最高指導者**金正恩**委員長に差し上げる手紙が採択された。



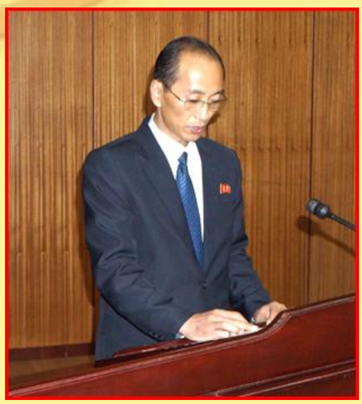
朝鮮学に関する国際学術セミナー開催

朝鮮学に関する国際学術セミナーがチュチェ 106(2017)年 11 月 18 日、朝鮮の首都平壌の人民文化宮殿で行われた。

セミナーには**金日成**総合大学の教員、研究士と社会科学院の研究士、第 3 回全国社会科学者大会に参加した世界各国のチュチェ思想研究者をはじめ、外国人、在日本朝鮮社会科学者協会代表団が参加した。



セミナーでは演説があった。



社会科学院副院長ソ・グァンウンは第 3 回全国社会科学者大会に参加した世界各国のチュチェ思想信奉者をはじめとした外国人と海外同胞学者を熱烈に祝賀し、同大会の期間に行われる国際学術セミナーが朝鮮学の研究を深化させ、わが共和国にたいする理解を深めることに寄与するだろうという確信を表明した。

つづいて討論があった。

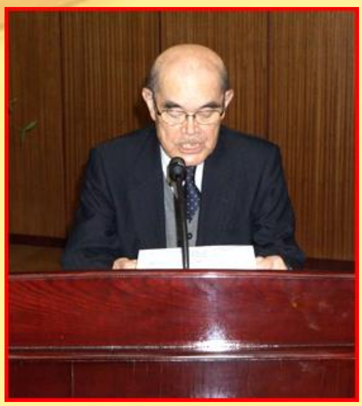


社会科学院の社会政治学研究所所長ソ・ソンイルは「強力な政治的・軍事的威力で保証された朝鮮民主主義人民共和国の戦略的地位」という題の討論で一般的に国家の戦略的地位であるという時、それは該当の国が国際関係、国際情勢発展の基本潮流で占める位置を意味すると言い、朝鮮民主主義人民共和国は創建以来、北東アジア地域を包括する国際関係発展、国際情勢発展において無視できない権威をもち、大きな影響力を行使してきたと話した。

彼は共和国のこうした戦略的地位を規定する基本要因は一言で言って、党と領袖の周りに団結した人民大衆の政治的・思想的統一団結といかなる大敵をも一気に打ちのめすことのできる強力な自衛的軍事力を内容とする共和国の政治的・軍事的威力であると話した。

彼は共和国のこうした戦略的地位は国家建設の全歴史的過程で政治的・思想的威力と軍事的威力を第一の国力と押し立て、その強化に第一義的かつ、もっとも大きな力を注いできた**金日成**主席と**金正日**総書記、**金正恩**委員長の卓越し洗練された指導の結果であると激情に溢れて吐露した。

彼は**金正恩**委員長の賢明な指導の下に、共和国は今後とも自主、自立、自衛の社会主義強国としての地位をさらに強化し、自主と正義の一路を力強く進むだろうと確言した。



「チュチェ思想に基づく社会主義の普遍的意義」という題で討論したチュチェ思想国際研究所理事であり、埼玉大学名誉教授である鎌倉孝夫は朝鮮の社会主義の前進は時代の切実な課題の実現において普遍的意義を有すると解説した。

彼はロシア社会主義革命成功の原因は、情勢を

正しく認識した上で労働者、農民を意識化、組織化したことにあるといいながら、ロシア社会主義の挫折の原因について官僚主義が蔓延し、自主的主体形成で党と大衆の団結が実現されなかったことだと論証した。

彼はチュチェ思想に基づく朝鮮の社会主義は現実的にロシア革命の成功と挫折の原因を解明し、それを教訓にして指導する党と労働者、人民大衆の思想と目的意識的な統一に基づく強固な自主的団結を形成し社会主義建設を確固と前進させていると話した。



「朝鮮民主主義人民共和国において主体化、現代化が高い段階で推進されていることについて」という題で討論した社会科学院経済研究所室長キム・サンハクは最近、朝鮮人民は自力自強の精神と科学技術を捉え、社会主義経済強国建設を促していると話した。

原料と燃料を国内資源で保障する生産技術工程を確立し、先端設備をはじめ、切に要求される技術手段を自体の実情に合わせて生産保障することを基本方向にして主体化実現を積極的に促進することにより、人民経済の各部門で達成された成果に触れ、人民経済の現代化実現ですべての生産工程をオートメ化、知能化し、工場や企業を無人化することを戦略的目標に押し立てて闘っていることについて解説、論証した。

彼は、朝鮮人民は朝鮮労働党が示した国家経済発展５ヵ年戦略の雄大な青写真に従って、自強力第一主義と科学技術を捉え、経済建設に総力を集中することにより、アメリカと敵対勢力の反共和国孤立抹殺策動を粉砕し、この地上に人民が世に羨むことなく暮らす天下第一強国を必ず打ち立てるだろうと強調した。

モンゴルの自主的発展のための白頭山協会指導理事エンフ・バトラルドは「現段階でアジアの民主主義と国家建設」という題の討論で、国家建設は



すべてのアジア諸国と他の大陸のすべての発展途上国において要の課題として提起されていると言った。

今日、われわれは価値観を見なおし、個人の利益を主張する哲学から自国人民に必要なヒューマニズム的価値観を主張する哲学へと移行すべきであるとし、これは 30 年間、不安定した状態にあるモンゴルの経験から得た痛ましい結論であると言った。

偉大な**金日成**主席が打ち出した自主性を具現するための 4 大原則である思想におけるチュチェ、政治における自主、経済における自立、国防における自衛の原則であり、この 4 大原則は自主的な国家を建設するための鍵となるといいながら、特に西欧の政治家たちのあらゆる脅威に現実的に対抗しながら、すべての国の平和と自主的発展を保証してくれる朝鮮人民の自主思想を見習うことが重要であると強調した。

彼は朝鮮人民が最後の勝利を成し遂げることを望むといい、友人のみなさん、世界各国のチュチェ思想研究者たちがチュチェ思想を研究する活動で大きな成果をあげることを望むと言った。



社会科学院歴史研究所所長ファン・ミョンチョルは「最近、わが国における歴史学研究成果について」という題の討論で、社会科学院の歴史研究所をはじめとした歴史学会でチュチェの方法論を具現してわが民族の歴史を正しく解明し、輝かせるための学術活動で一定の成果を上げたことについて言い触れた。

最近、歴史研究成果で注目すべきことはまず、5 千年の民族史を新たな形式で総合体系化するための研究活動の過程に「朝

鮮部門史」と「朝鮮断代史」の執筆、編纂活動が完成されたのであると言った。

彼は高句麗史研究の重要性からすでに勝ち取った成果にもとづいて新しい資料と分析で高句麗史を新たに整理体系化するための活動を計画し推し進めた結果、「高句麗叢書」執筆を基本的に完成することができ、高麗時期の金属活字を新たに発見したことについて話した。



ロヘケレ・カロンダ・アンドレ、アフリカ地域チュチェ思想研究会書記長は「チュチェの社会主義の不敗さについて」という題の討論で、21世紀に入りながら世界は政治的に、経済的に、思想的に大きな変化に直面しているといい、人民がもっとも栄えるようにする優れた政治思想制度は何かについて話した。

彼は朝鮮の社会主義のモデルは**金日成**主席が創始し**金正日**総書記が深化発展させ、今日は**金正恩**委員長が継承していくチュチェ思想を具現した結果であるといい、われわれは当然、進歩世界を照らすこの偉大な思想を**金日成・金正日**主義に呼ぶべきであると話した。

金日成・金正日主義を具現した結果、朝鮮民主主義人民共和国は横たわるすべての難関を克服し、自国人民の福利と先軍政治による世界的水準の真の自衛のためのりっぱな自己発展手段をさらに増やしていく自主独立的な国として世界の舞台に堂々と立ったと話した。

彼は 1950 年から続く経済財政的制裁も、この国の経済と技術、工業的発展を窒息させようとする破廉恥な目的から毎年、悪辣に実施されている国連安保理の不当な制裁も、連続的な破壊的自然災害も、この国の人民を屈服させることができなかったと強調した。

人間が自主性、創造性、意識性をもった社会的存在として自己の運命の主人であるということを解明した哲学的原理、人民大衆が自らの闘争と創造力、思想意識で社会歴史を創造するということを解明した社会歴史原理、そ

して自主的な立場と創造的方法に依拠することを要求する指導的原則にもとづいているチュチェ思想の基本内容は、それが国家活動のすべての分野に具現されてこそ、不敗の原動力となることを彼は解説、論証した。



「社会主義文明強国建設と朝鮮人民の文化的権利の保障」という題の討論で、社会科学院人権問題研究所研究士キム・スンイルは、文明強国は社会主義文化が全面的に開花発展する国、人民が高い創造力と文化水準を備え、最上の文明を最高の水準で創造し享受する国であるといい、その根本特徴は人類の文化発展を主導していけるもっとも先進的で人民的な文化が燦然と開花発展する国であると言った。

彼は共和国では党の文明強国建設方針を体し、その貫徹のための力強い闘争がくり広げられており、人民の文化的権利はより高い水準で保証されていると解説した。

共和国では社会主義文明強国建設で教育が占める重要性と意義から教育強国、人材強国の実現に第一義的な力を入れており、全般的無料治療制を通じて人民の医療上の権利を最上の水準で平等かつ完全に保証されていると話した。

彼は党の構想と意図にしたがって全国にスポーツ熱風が激しく巻き起こり、スポーツ活動では画期的な転換をもたらすための闘争が力強くくり広げられており、時代と革命発展の要求に即して文学芸術部門を盛り立てて文学芸術発展において新たな全盛期を開いていると話した。

共和国ではすべての勤労者が科学技術と文学芸術活動に自由に参加して国の進歩と発展に寄与できる多くの成果を収めており、それに相応しい恵沢を十分に享受しているといい、朝鮮労働党の賢明な指導の下に社会主義文明強国の姿に相応しい現代的な文化情緒生活基地がりっぱに建設されるこ

とにより、朝鮮人民の文化生活では一大転換が起こっていると話した。



在日本朝鮮社会科学者協会副会長チェ・ヨンへは「南朝鮮社会における積弊とその清算をめざす課題」という題の討論で、南朝鮮の外部勢力依存政策の属性を分析し、いくら政権が変わり、誰が政権を掌握しようとも、外部勢力依存から脱せず、民族の自主的発展を阻み、民意に反するならば、南朝鮮人民の新社会、新政治にたいする志向は決して実現され得ないと話した。

彼は南朝鮮の積弊は一部の極右翼腐敗勢力を一掃する方法ではなく、外部勢力に依存し、国を分裂させる体制を排撃するための真の社会改革によってのみ達成できると言った。

南朝鮮で積弊を一掃するためには、南朝鮮の現統治勢力が従属的なアメリカ・南朝鮮関係に反対するための戦略的決断を下し、政治を政治的自主性回復の政治に変えなければならないし、反共和国対決政策を撤廃して、政策で根本的な転換をもたらすことにより、北南関係を改善すべきであると強調した。



金日成総合大学の歴史学部教員キム・ギョンスンは「わが国において民族の固有の民俗伝統を固守し発展させる上で達成した成果について」という題の討論で、民俗伝統は人民大衆の長い生活過程で生まれ、代を継いで伝統的に守ってくる生活風習として、民俗伝統を固守し輝かせるというのは、歴史的に創造され代を継いで伝えられる優秀かつ美しい風習を大いに探し出して生かし、社会生活のすべての分野に具現していくことを意味すると言った。

主体性と民族性を固守する上で民俗伝統が占める重要性と意義を洞察

した偉大な**金日成**主席と**金正日**総書記は、革命と建設を指導する全期間、民俗伝統を固守し発展させる問題をわが党の政策、共和国の法として制定してこの活動を賢明に指導した。

また敬愛する**金正恩**委員長は、朝鮮民族が創造したすぐれた民族的風習を継承、発展させることについて貴重な教えを与え、この活動を賢明に導いていると彼は話した。

彼は今日、共和国では伝統的な衣・食・住の生活風習が固守発展されて民俗祝日を意義深く迎え、民俗遊戯を積極的に生かしており、固有の民俗音楽と民俗舞踊を大いに奨励して民族の美しい家庭生活風習が固守発展され、すぐれた礼儀文化を大いに生かしていると話した。

研究基地が確保され、民俗学の部門研究活動が深みをもって行われており、朝鮮人民の民族的風習を考証し解説した図書が多く出版され、それを紹介し解説宣伝する活動が新聞や放送など、出版報道物を通じて多様な形式と方法で行われていることなど、最近の共和国の民俗学会で収められた成果を解説した。



「人民第一主義をかかげて進む『朝鮮民主主義人民共和国社会主義憲法』の特徴」という題で討論した日本関東学院大学教授大内憲昭は、**金日成**主席も早くから以民為天を座右の銘とし、人民大衆中心のチュチェ思想にもとづいて、人民を主体としてあらゆることを考え実践する政治をおこなうという人民第一主義の内容を貫いたといい、人民第一主義の思想は、**金正日**総書記に引き継がれ、さらにいまでは**金正恩**委員長によってりっぱに引き継がれていると話した。

彼は1948年9月8日、最高人民会議第1回会議において制定された朝鮮民主主義人民共和国憲法は共和国の法的基礎となったといい、この憲法は

人民民主主義憲法としての性格をもち、1972 年の社会主義憲法は共和国における社会主義革命と社会主義建設の成果を正しく反映しており、社会主義社会における政治、経済、文化分野の諸原則と公民の基本権利と義務を規定しており、国家機関の構成と任務、活動原則を規制していると解説した。

朝鮮の社会主義憲法の特徴は領袖観の具現であるといい、1972 年憲法第 6 章において「朝鮮民主主義人民共和国主席」と初めて規定され、**金日成**主席は 72 年に主席と推戴されたと話した。

彼は 2009 年憲法第 100 条では「朝鮮民主主義人民共和国国防委員会委員長は、朝鮮民主主義人民共和国の最高指導者である」と規定され、国防委員会委員長が国家の最高指導者であることを明白にしたといい、2016 年憲法では第 100 条で「国務委員会委員長」を最高指導者として規定したと話した。

彼は真に優れた社会は人間中心の、人民大衆第一主義のチュチェ思想を基軸に実現しようとしている社会主義国家であると強調した。



中世叙事詩文学の新しい境地を開いた叙事詩「東明王編」という題で討論した**金日成**総合大学文学大学教員カン・ボクシルは、高麗時期の有名な文人李圭報によって 1193 年に創作されたこの作品は、B.C.3 世紀に建てられた高句麗封建国家の建国説話である「朱蒙（しゅもう）伝説」を再現した長編歴史叙事詩であることを解説、論証した。

彼は、詩人が高句麗時代とともに誇るべき民族史の伝統を万代に継承して、民族発展と社会的安定を成し遂げようとする熱望を作品の主な思想的志向として提起したといい、「東明王編」は、ほぼ 280 行として、序詩と高句麗の建国説話を詩化した本詩、終詩となる大規模の作品であると話した。

作品は、解慕漱（へもす）神話、朱蒙（しゅもう）伝説など、説話の遺産を起承転結の筋道を簡潔に備えた叙事詩的画幅に再構成することにより、歴史物主題の創作と叙事

詩発展の新たな境地を切り開いたといい、東明王の非凡な性格と知略、勇猛さを浮き彫りにし、建国史跡を究明するうえで明白な形象的役割を果たしているといい、彼は朝鮮民族史の悠久さを誇り高く実証し、愛国・愛族の思想感情を強く鼓吹することにより、それ以降の詩歌文学発展に大きな影響を及ぼしたと話した。

国際学術セミナーは朝鮮学にたいする研究を国際的範囲でさらに深化し、世界各国の専門家、学者間の絆と交流の強化に貢献する意義深い契機となった。



座 談 会

チュチェ思想にたいする世界の進歩的人類の限りない敬慕と称揚

参加者：リ・ソンチョル（朝鮮社会科学者協会書記長）
キム・チャンギョン（朝鮮社会科学者協会室長）
オ・ソンチョル（朝鮮社会科学者協会室長）
リ・ジョンファ（司会、朝鮮社会科学者協会責任審議員）

司会者：お早うございます。

今日、チュチェ思想が朝鮮革命の実践によって、その真理性と正当性がさらに如実に立証されてもっとも優越かつ生命力のある思想としての威容を誇示している中、人類はチュチェ思想に深い関心をもってそれを学ぶために努力しているのではありませんか。

それでチュチェ思想にたいする世界の進歩的人類の限りない敬慕と称揚について皆さんと話し合おうと思います。

リ・ソンチョル：そうしましょう。

金正日総書記は次のように述べています。

「こんにち、国際舞台においてチュチェ哲学にたいする関心が日増しに高まり、チュチェ思想信奉者の隊伍が拡大されている事実は、チュチェ哲学が革命実践にもっとも正しい解答を与える哲学であることを如実に証明しています。」

今日、チュチェ思想を見習うことは押しとどめることのできない現代の趨勢となっており、それにたいする信奉の熱度は絶えず高まっています。

思想の運命を決定する上ではその真理さ、時代性とともにそれを擁護す

る社会的環境も重要な影響を及ぼしますが、それに劣らず大きな役割を果たすのがその思想を見習う信奉者の態度であると思います。

人間がある思想に接する過程は大きくは二つの経路つまり、外部からの強制的な思想的注入や自分の選択によってなされます。人々に強制的に注入された思想はたとえ、習慣として固まったとしてもその思想を擁護する国家権力や社会経済的基礎が崩壊すれば次第に死滅されるようになります。

自分が選択した思想もその正当性を深く認識し、しっかり擁護する感情に切り替えられない限り、環境が変化し外的非難や攻勢の衝撃を受ければ、人々の頭脳から離脱して次第に自己の拠り所を失うものです。

キム・チャンギョン：　そうです。

人間が正しい思想を捉え従うことは決して、容易いことではないし、その動機もそれぞれ異なります。

元チュチェ思想国際研究所理事長井上周八は**金日成**主席の古典的著作「わが党のチュチェ思想と共和国政府の対内対外政策のいくつかの問題について」を始めとしたさまざまな著作を耽読する過程にチュチェ思想に魅了されて、マルクス主義信奉者からチュチェ思想の信奉者に方向転換をした人です。

一部の人々は井上周八を見て「朝鮮万歳を叫びながら朝鮮についてのみ研究するだけで日本については無関心な人」であると批評したのではありませんか。

これについて井上周八は「そういう人々は日本について、日本の運命について考えられない人々である。

なぜ、チュチェ思想が朝鮮にのみ限られた一民族の思想であるのか、チュチェ思想は人間であれば誰をとわず、見習うべき思想であり、朝鮮で創始されたとはいうが、人類の思想、世界的な思想である」と答えました。

オ・ソンチョル：そうです。

世界の多くのチュチェ思想研究者の間には井上周八のように曲折多き人生体験を経て、生の要求を実現する方途を**金日成**主席の著作に見出し、チュ

チェ思想の信奉者になった人々がいるかと思えば、ニーチェの哲学を崇拝していて方向転換をしたハンス・クレカツキのように長い政治経歴をもって自己方式の政治理念を模索する過程にチュチェ思想を信奉した人々もいます。

オーストリアの軍人家庭で生まれたハンス・クレカツキは第２次世界大戦の時期にナチスの少年先鋒組織に入り、オーストリア空軍パイロットとしてさまざまな戦闘にも参加しました。この過程に彼は戦争が人類に与えるものものしい災難と惨禍を目の当たりにしながら平和擁護思想をもつようになりました。

反戦平和偉業に献身することを決心した彼は２０代に法律学の博士学位を授与されたし、その後は司法相、インスブルグ総合大学の工法及び政治学研究所所長を務めながら現代政治学を研究しました。

彼は現代政治学を研究しながら正確な政治理念を探すために苦心した結果、ドイツの女流作家ルイザ・リンザが書いた「北朝鮮訪問記」を読んでわが国を訪問したのではありませんか。

彼は主席をお会いし、主席から全世界の自主化、ヨーロッパの自主化にたいする教えを直接聞きながらチュチェ思想こそは、自分が今まで模索してきた政治理念であることを確信するようになりました。

その後、彼はチュチェ思想国際研究所理事長となり、チュチェ思想を全世界に普及・宣伝する活動に自分のすべてをささげました。

司会者：　チュチェ思想、チュチェ哲学にたいする世界人民の熱烈な信奉は彼らが**金正日**総書記に贈った贈り物にもそのまま反映されているのではありませんか。

リ・ソンチョル：そうです。

アジア地域のチュチェ思想研究所書記長であったゴビンドが贈った木製の彫刻「獅子をあつかう勇敢な人」、チュチェ思想ガーナ全国研究所文学芸術人支部責任者であったプレード・アグボブリーが贈った油絵「アフリカに光るチュチェの太陽」、ネパール朝鮮親善協会から贈られた彫刻品「チュ

チェの寺院」など、総書記に人類が贈った贈り物の中でチュチェ思想の偉大さを理性として感受し、自己の運命をひたすらチュチェ思想で開拓しようとする世界の人民の意志をこめた贈り物だけでも数万点が国際親善展覧館に展示されています。

総書記に贈った人類の贈り物の中にはチュチェ思想にたいする絶対的な信奉の心が込められていると思います。

司会者:チュチェ思想の大きな牽引力について世界の各大陸と多くの国と民族、人士の間でチュチェ思想の熱烈な信奉者が絶えず育っているのではありませんか。

オ・ソンチョル:そうです。

フランスのパリ第1総合大学哲学教授であったピエル・ブドは「生の哲学」を真の哲学としてみなし、そこに全力を傾けてきたが、平壌を訪問してチュチェ思想に接した時からブルジョア哲学と完全に決別し、チュチェ思想の熱烈な信奉者に、その積極的な宣伝者として人生転換をするようになりました。

彼はチュチェ 73(1984)年 9 月「フランスクルティール」放送との実況会見で「私は東方にある朝鮮に行ってきた。そこで私は新たな世界を発見した。それは人類がこれまで心の中で描いた理想郷である」と言いました。

その後、チュチェ思想国際研究所理事となった彼は親友たちにこういう言葉を残しました。

「私が死ねば小さな碑石を一つ建てておくれ、赤い大理石に太陽を刻み、その下には五稜の星を刻んでほしい。太陽は**金日成**主席と**金正日**総書記を象徴し、五角の星は太陽の周りに結集した5大陸のわれわれのチュチェ思想信奉者を意味する。星の中には『私はチュチェの心臓で永生するだろう』と書き、その下に私の名前を書いてほしい。これはチュチェ思想を信奉し愛するとき、人間は誰もが永生することができることを次世代に伝えたいからだ」

彼が思い掛けない事故にあって世を去ってからしばらくの後、フランスにいるチュチェ思想信奉者はいま一つのチュチェ思想研究組織を組み、組織

の名前を「ブド協会」と付けたのではありませんか。

司会者:こうした人生転換の歴史はチュチェ思想信奉者たちにおいてほとんど稀なことであると思います。

革命思想の研究の熱気に乗じて世界のすべての大陸でチュチェ思想の信奉者が多く排出し、自主時代にチュチェ思想を信奉するのが世界的趨勢になったのではありませんか。

キム・チャンギョン:そうです。

最初には個別的な人々によって行われたチュチェ思想研究普及が 1960 年代からはチュチェ思想研究組織によって活発に行われました。

そうした基層組織の中でチュチェ 58（1969）年 4 月にマリーの高等師範大学教員、学生によって結成された**金日成**同志著作研究グループは一番先に発足したチュチェ思想研究組織でした。最初に活動した全国的な組織はチュチェ 66（1977）年 4 月にレバノンで組織されたチュチェ思想研究全国組織でした。

チュチェ 67（1978）年 4 月に全世界的チュチェ思想研究組織であるチュチェ思想国際研究所が創立され、チュチェ 69（1980）年 9 月、インドの首都ニューデリーでアジア地域チュチェ思想研究所が、チュチェ 74（1985）年 4 月、シエラレオネのフリタウンでアフリカ地域チュチェ思想研究委員会が、チュチェ 67（1978）年 2 月コスターリカのサンーホセでラテンアメリカチュチェ思想研究所が、チュチェ 74（1985）年 10 月、フランスのパリでヨーロッパ地域チュチェ思想研究学会が創立されました。

チュチェ思想国際研究所と大陸別研究組織が創立された後、各国で国家元首と政界、学会の著名人の発起とサポートの下に多くのチュチェ思想研究組織が組織されました。

リ・ソンチョル:チュチェ思想研究組織が組織された後、チュチェ思想研究セミナーが活発に行われ、チュチェ思想にたいする研究普及のための出版物の宣伝も広範に展開されています。

特に、世界の多くの国々では**金日成**主席と**金正日**総書記の著作、**金正恩**委員長の著作を翻訳出版し、写真展示会、解説講演会などを通じたチュチェ思想研究普及活動も盛んに行われています。

司会者：そうです。

チュチェ思想研究組織と研究構成員はチュチェ思想研究普及活動を通じてチュチェ思想こそは、いかなる思想とも比肩できない真に偉大な思想であると一致して言うのではありませんか。

オ・ソンチョル：そうです。

日本の神奈川大学のある名誉教授はこう述べています。

「チュチェ思想がこのように短期間に全世界に普及し、世界人民の心を捉えたという一つの事実だけでも、チュチェ思想が他のいかなる思想とも比肩できない偉大な思想であるということをよく理解することができます」

チュチェ思想、チュチェ哲学の明るい前途を楽観させるこの声は彼一人だけでない進歩的人類の一致した声だと思います。

キム・チャンギョン：そうです。

今日、進歩的人類はチュチェ思想を学び、自分らの運命開拓を目指す闘争に具現するために積極的に努力しています。

チュチェ思想を具現するための進歩的人類の闘争とともに世界はさらに自主化されていくでしょう。

司会者：今日、世界の進歩的人民は主席と総書記が創始し深化、発展させた革命思想を**金日成・金正日**主義に定義づけ、絶えず深化、発展させている**金正恩**委員長にたいする限りない敬慕と熱い称揚の声を高めています。

実に、敬愛する最高指導者**金正恩**委員長がおられてチュチェ思想は自主時代の今日だけでなく、未来までも代表する思想としてさらに輝くでしょうし、この永遠不滅の革命思想の大きな影響力によって自主の新世界の未来はさらに輝くでしょう。

それでは皆さんとのお話をここで終わります。

